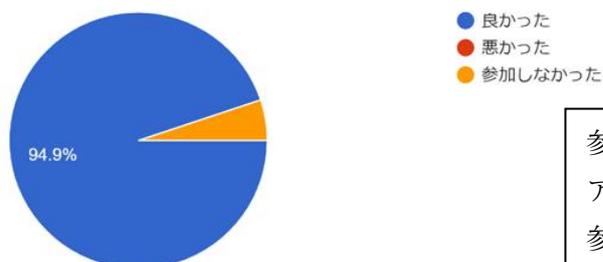


令和5年度

全事研岡山支部セミナー（全事研岡山支部第2回研修会）

アンケート結果 ※一部抜粋

総合評価（いずれかにチェック）
39件の回答



<講演>。

- 地域協働、コミュニティスクールへの過渡期にあり、方向性が見えていなかったのですが、現場の状況を踏まえた事例を聞くことができ、また事務職員としてどう関わっていけるかを考える機会を得ることができ、何となくではあるが、こんなことができるのでは？という指針が見えたように思います。すぐに活かせるというレベルではありませんが、自分の中に新しい何かを得ることができた有意義な講演でした。ありがとうございました。
- ルーブリックというツールを有効活用して、組織へアプローチされているようでした。私たちの身の回りにもいろんなツールがありますが、自分に合ったものを探してもよいかもと思いました。教育目標は、あらゆる面を網羅してたくさん掲げますが、重点目標を示したり、そもそも掲げる数を減らしたりすべきだと考えています。地域連携も踏まえると、どこもそうしていくべきだと思うので、提案していけたらよいなと考えました。
- 1時間半あっという間でした。組織のマネジメントについて学び、組織の一員である事務職員として何ができるかを考えました。話し合いの時間も数回に分けて設けられており、色々な事務の先生の意見や考え方を知ることができて、自身の考えを深めることができました。いただいた資料も見やすく、組織において大事なことも書いてあるので、時々見返したいなと思います。「私は組織をより良くしていく存在であると同時に、組織の一員でもある。」という言葉が、自分自身も学校という組織に所属しているということ再認識する機会となり、印象に残ったので、今後もこの言葉を意識して過ごしていきたいです。
- 社会に開かれた教育課程というのが、その目標を社会と共有することということが知れてよかった。ふたば未来学園の教育目標が変革者たれというのが印象に残った。公立の小中学校では難しいかもしれないが、来年の教育課程の編成などで取り入れられたらと思う。フリースペースについては、小中学校では、けんかの元になってしまうかなと感じましたが、いろいろな人との交流の場を通して、広い視野を持った子どもが育てばいいと思いました。

- 福島の事例にしても島根の事例にしても、実現には相当なエネルギーを要し、かなり大変だったことが想像できます。自分には頑張りたい気持ちはあれるけれど、そこまでの元気はありませんので、せめて当事者意識を持って、事務職員の枠に囚われずにできることをやっていこうと改めて思いました。学校の一員としてより良い組織についての考え方についても勉強になりました。事例は事例として、考え方は考え方として、今後の学校運営参画の参考にさせていただきます。
- とても良い講演でした。学校の組織づくりについて、時々考えてはいましたが、ループリックや教育課程とも結びつけられていて、納得の内容でした。また、実際長谷川先生が関わっておられる高校や地域の話も具体的にお聞きすることができて、勉強になりました。今、自分から何か起こそうとすることはできませんが、しくみや考え方について学んでおくことは、今後の自分の行動や思いに大きく影響すると感じました。事務職員として…とよく言われますが、何ができるかではなく、何をしたいかを考えるヒントをもらえた気がします。ありがとうございました。
- 物事をマネジメントしていく際に、何を基準にしてどんなことを進めていくのかを具体的に考えながらも、具体的な物事を抽象的かつ端的に表すことができるようになることで、明確な目標とそれに向けての手段方法を見つけ共有することができるのだと感じた。制度等のハードな面とコミュニケーション等のソフトな面、双方を疎かにせず大切にすることで組織運営は円滑に進みやすくなることを知った。制度などは県等から通知され、コミュニケーションなどは学校において必要で、事務は教職員同士や教員と管理職を繋げる役割と制度などに関する知識も必要で、ハードな面とソフトな面どちらにも偏ることなく、どちらの能力も求められている職なのかなと感じた。
- 高校生の活動のお話がメインだったので、小中で何がいかせるか難しかった。お話になるとかけ足だったので、もう少し詳しく聞きたかった。

～質疑応答～

- ①「教育課程編制の流れ（育てたい子ども像をループリックの形に落としこんでから、そのための教育課程を考える）」『「学校」「地域」「コーディネーター」の三役でコア会議を行うことでPDCAを進める』の2点が心に残りました。組織をうまく作り、噛み合えば自走して（PDCA サイクルが回って）いくのだと感じました。点ではなく面での対応・伴走支援ができる仕組みになっているのが素晴らしいかったです。また、地域連携に関しては岡山県でも取り組み自体は進んでいるところですが、このPDCA サイクルが回るまでには至っておらず、まだ課題が残っています。これから勤務校でも組織開発を実践していきたいところですが、事前に間違え方を知っておくことでどこに気を付けるべきか学ぶことができると思いますので、参考までに、組織づくりに関して、失敗してしまった事例、うまくいかなかった事例などについてもぜひ教えていただきたいです。

→関係者の対話の機会だけで終始し、具体的な変化が起こっていないと、やはり徐々に賛同者の心が離れていく場面を何度か見えています。その意味で、コアとなるワーキンググループなどを作り、具体的な変化を起こし、その変化を関係者同士で分かち合うプロセスを通じて、「組織をより良くしていこう！」という賛同者、仲間を増やしていくことも大切だと思っています。課題はたくさんあるかと思いますが、まずは小さくとも、変化を起こせるところから、一步一步、前に進めていくことから始まるのだと思います。

②コンテンツとプロセスのお話でプロセスに焦点をあてていく必要があるといわれていたのがすごく印象的でした。ふたば学園では、教育目標に「変革者」を育成するとし、全教職員で育てるとありましたが、そこに学校事務職員がどのような関わりをされていたのかを具体的に分かりましたらぜひ教えていただきたいと思いました。

→ふたば未来学園の場合、やはり大きな役割は予算獲得・予算調整の部分でした。復興財源や民間の寄付など、うまくその財源が獲得できるように関係者に働きかけたり、実際の申請や報告をしたりするにあたり、どのように書類をまとめていくべきかについては、事務職員(特に事務長)も先頭に立ちながら、より良い方法を一緒に模索し、前へ進めてきました。また、その前段として、教育活動を通してどのような生徒を育てていくのかといった議論についても、できる限り事務職員の皆さんにも参加していただき、対話の機会を共有することを通して、その方向感を互いに握り合うことを意識して進めていました。

<グループ協議>。

- 世代の違う方と交流することで、自己とは違った視点での考え方に、はっとさせられることが多かったです。自分のしてきたことを見直す機会にもなり、また今後のあるべき姿を学ぶ機会にもなりました。また、他の市町村のことを聞ける貴重な機会なので、とてもありがたかったです。
- 県外の方と意見交流ができた。地域性が異なる学校同士での協議だったので話が広げやすかったが、個人的には広がりすぎてしまったと感じている。
- グループの皆さん、とても志高く、目的意識を持った仕事をしていることに本当に尊敬します。静岡県で凝り固まった考え方を、柔軟に考えることが出来るようになりました。さまざまな年代と地域の方と話をする機会はとても貴重で参考になると心から思いました。
- ふせんを使ってグループワークをする機会があまり無かったので、新鮮でした。する前は、難しそうと思っていたのですが、色んな意見を聞くことができ、意見もふせんにより可視化され分かりやすく、とてもためになる時間でした。他市の事務の先生と関わる機会がないため、他市で行われていることなども知れて見識が深まりました。学校経営計画書が事務の仕事とどう結びつくか今まであまり良く分かっていなかったのですが、グループワークを通して、事務職員も色々な面で関わっていくことができ、事務の仕事も学校経営計画とリンクさせることができると感じました。勤務校の学校経営計画書も見直してみて、事務職員としてできることを考えてみたいと思います。
- 例年、経営計画書等を見ながら自己目標を立てるのが難しいと感じていたが、複数の目で検討することで事務職員側からのアプローチ方法についてとても勉強になった。グループメンバーで市や経験年数が分かれていることもあって、新たな着眼点や、これまでの実践を踏まえたアドバイスなどを得ることができた。今まではどうしても手段に主眼を置いてしまいがちだったが、「ミッションに立ち返る」ことで本来の目的に沿ったやり方を選択できるのだと改めて気づいた。研修の内容に関して、1回目の研修では同じ補職でのグループワーク、今回は異なる補職でのグループワークと、テーマも含め繋がっていたので、事務職員個人としてのスキルアップと学校の教育活動の向上が密接に関わっていることを実感できた。

<その他>

- 1月が良いと思います。場所も駐車場が広がったので良かったと思います。
- 時期的に雪が気になる季節なので岡山市開催で良かったかと思います。
- 時間があと少し遅いとお昼ご飯を食べに行きやすいです。
- 業務が落ち着いたところで、ちょうどいい時期だった。場所についても、人数と部屋の大きさがちょうどよかった。ただ、グループでの机椅子の移動が少しやりづらかった（特に横間隔）。今回のように、スペースが限られており記録用紙が模造紙でなく A3 サイズであれば、机を合わせず、付箋を書くときは自分の机で行い、自己紹介と共有するときだけ向かい合う形でも十分だったかもしれない。

<来年度の研修会の内容>

- 人事必携が発行されない、データも閲覧できない状況下に役立つ研修。
- 鍵本教育長が中教審の臨時委員になられているようなので、そのあたりのお話が聞けたらと思います。
- 民間のマネジメントや業務改善、スケジュール管理や効率化の取組、今後の教育界について
- 共同学校事務室の活動について（定型業務以外）